

令和6年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書

(令和5年度分)

大江町教育委員会

目 次

I	大江町教育委員会事務事業の点検評価について・・・・・・・・・・	P1
	1. 制度の概要及び目的	
	2. 点検・評価の対象事業	
	3. 点検・評価の方法	
	4. 学識経験者の知見の活用	
II	教育委員会等の活動状況・・・・・・・・・・	P3
	1. 教育委員会の開催	
	2. 教育委員会協議会の開催	
	3. 会議以外の活動	
III	外部評価委員の意見・・・・・・・・・・	P5
IV	施策の体系（大江町教育振興計画）・・・・・・・・・・	P8
V	点検・評価調書一覧・・・・・・・・・・	P9
	【事務事業別点検・評価調書】	

I 大江町教育委員会事務事業の点検評価について

1 制度の概要及び目的

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価をおこない、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

また、この点検・評価をおこなうにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正を受け、大江町教育委員会では、効果的、効率的で開かれた教育行政の推進に資するため、平成22年度より前年度の事務事業について、3名の外部評価委員（大江町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しています。

大江町教育委員会では、令和2年9月に「自己実現と共生をめざす 心豊かな人づくり」を理念とした大江町教育プラン（第3次大江町教育振興計画）を策定し、「共生教育の充実と生涯学習の推進」を基本目標に、「未来を切り拓く力を育む学校教育の推進」、「つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進」、「ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進」、「健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進」という4つの分野別目標を掲げ、相互に連携しながら各種教育施策の推進に努めております。

今回は、令和5年度におこなった主要な事務事業について点検・評価を実施するものです。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価をおこない、その結果に対する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価をおこなうに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、令和5年度において教育委員会が所管し実施した主要な事業（25事業）を対象として選定しました。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」・「効率性」及び「有効性」の観点から分析評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」・「継続」・「縮小」・「見直し」及び「休廃止」に区分し、点検・評価を行い「事務事業点検・評価調書」としてまとめております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会がおこなった点検・評価について、その客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員（大江町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容

についてご意見をいただくこととしています。

◇大江町教育事務評価委員

富 樫 雅 人、 伊 藤 学 、 松 田 澄 子

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

開催日	区分	議案番号	件名
4月26日	定例	1	大江町社会教育委員の委嘱について
		2	大江町文化財保護委員会委員の委嘱について
5月31日	定例	3	令和5年度大江町教育費予算（令和5年度一般会計補正予算第2号）に対する意見の申出について
		4	令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
6月28日	定例	5	大江町教育事務事業点検・評価報告書（令和4年度分）の評価項目について
7月28日	定例	6	令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
		7	令和6年度使用小学校用教科用図書および令和6年度使用中 中学校用教科用図書の採択について
		8	大江町学校のあり方検討委員会への諮問について
8月30日	定例	9	令和5年度大江町教育事務事業点検・評価報告書（令和4年 度分）について
		10	大江町教育費予算（令和5年度一般会計補正予算（第3号）） に対する意見の申出について
		11	令和5年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
10月5日	定例	12	大江町教育費予算（令和5年度一般会計補正予算（第4号）） に対する意見の申出について
11月28日	定例	13	大江町教育費予算（令和5年度一般会計補正予算（第5号）） に対する意見の申出について
3月6日	臨時	14	令和6年度 大江町立小中学校教職員人事異動内申について
		15	大江町いじめ防止対策の推進に関する条例の制定について
		16	令和5年度大江町教育費予算（令和5年度一般会計補正予 算（第6号））に対する意見の申出について
		17	令和6年度大江町教育費予算（令和6年度一般会計予算）に 対する意見の申出について
		18	令和5年度大江町教育委員会表彰について
3月26日	定例	19	大江町いじめ問題対策連絡協議会設置規則の制定について
		20	大江町いじめ問題対策専門会議設置規則の制定について
		21	大江町いじめ重大事態再調査委員会設置規則の制定につい て
		22	令和6年度要保護・準要保護の児童生徒の認定について
		23	令和6年度大江町教育委員会職員の人事異動について

2 教育委員会協議会の開催

開催回数 3回（10月31日、12月19日、1月31日）

内 容 教育長報告及び今後の日程などについて

3 会議以外の活動

(1) 学校訪問 (令和5年度)

実施日	実施校	実施日	実施校
6月22日 (木)	藤田の丘分校	7月5日 (水)	本郷東小学校
6月28日 (水)	左沢小学校	11月29日 (火)	大江中学校

※ 新型コロナウイルス感染の影響により、給食試食会を中止するなど規模を縮小して実施した。

(2) 大江町総合教育会議の開催

- 日時 12月19日(火) 午後3時～
内容 ①町の教育振興について
②次期大江町教育振興計画に向けて
③今後の学校のあり方について

(3) その他の主な活動

- 4月 7日(金) 大江町小中学校入学式
28日(金) 山形県縦断駅伝競走大会(大江町中継所通過)
5月17日(水) 大江町小中高PTA連絡協議会総会
20日(土) ぷくらすカレッジ開講式・オープニング講座
27日(土) 本郷東小学校運動会
28日(日) 町民ソフトボール大会
6月 4日(日) あじさい手づくり工芸まつり
3日(土) 左沢小学校運動会
5日(月) 山形県市町村教育委員会協議会定例総会及び施設見学会
25日(日) 舟唄健康マラソン大会
7月13日(木) 西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会
8月 4日(金) 山形県市町村教育委員大会(新庄市)
14日(月) 大江町二十歳祝賀式
8月27日(日) 大江町縦断駅伝競走大会(中止)
9月14日(木) 大江中学校躍動祭(熱中症対策のため9月2日からの延期)
10月 8日(日) 大江町チャレンジデー
9日(月) //
28日(土)～30日(月) 大江町文化祭
11月11日(土) 左沢小学校学校創立150周年記念式典
11月10日(金) 大江町小中高PTA連絡協議会秋の研修協議会
12日(日) 西村山地区駅伝競走大会
12月19日(火) 大江町総合教育会議
1月28日(日) 町民つなひき大会
2月25日(日) ふれあいコンサート ～弦楽アンサンブルのしらべ～
3月14日(木) 大江中学校卒業式
18日(月) 町内小学校卒業式

Ⅲ 外部評価委員の意見（令和5年度事業分）

1 教育委員会活動等全般について

- (1) 新型コロナの5類感染症移行後は特段の感染症対策はとらなくともよくなったが、人の動きが活発化するにつれて感染リスクが高まり、感染者数は一向に減らない状況が続いています。何度も押し寄せてくる新型コロナには気が滅入るばかりだが、児童生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるよう、決して俯かず、前を見て、希望を語り、積極的に教育活動を展開してきた各学校とそれを支える教育委員会の営みを称えたいです。
- (2) 残念なことに子どもの減少が著しいとのこと。大江町は他市町村に先駆けていろいろなことを実践してくださっており、大変暮らしやすい町だと思っています。しかし、進学に伴って町に帰ってくる子ども達も少なくなり、さらに人口の減少に歯止めが利かない状況のように思います。帰ってきたくなる町、大江町で育って良かった、大江町で子育てしたいと思えるよう、「共生教育の充実と生涯学習推進」という目標達成のため、各種取組と事業を通してこの町の魅力を伝えていただきたいと思っています。
- (3) 児童生徒数の減少に伴う学校のあり方検討、左沢高校の存続に向けた支援、部活動の地域移行等の難課題に真っ向から取り組んでいる一方で、各種事業の「拡充」に努められてきた堅実性に敬意を表したいです。

2 学校教育全般について

- (1) 知能検査やNRT検査、Q-Uアンケート調査等は、社会を生き抜く確かな学力育成のための貴重な基礎資料となるものであり、今後も実施のための予算を確保し継続することが必要であると考えます。NRTテストに英語を加えるかどうかの課題が出されて3年が経過しました。すでにG-TECが実施されている中での微妙な課題であるが、結論を出す時期に来ているのではないのでしょうか。英語のオンラインレッスンは、座学では実践的な学びに繋がり大変有効な取り組みだと思います。自分の殻を破って、グローバルに前進して行ってほしいものです。また、保育園へのALT・指導員の派遣という取り組みも素晴らしく今後も継続を望みます。
- (2) 様々な心の悩みに寄り添うためにはそれ相応の相談員が確保されなければならない。どの分野でも人手不足が感じられる中、教員や指導員といった所も例外ではない事、非常に悩める場所でもあります。児童生徒や保護者の悩み、不登校児童・相談件数の増加傾向ということから教育委員会としても次年度に向け、相談体制を拡充していく方向ということですので、相談員同士のネットワークを充実させ、更なる支援についてお願いしたいです。
- (3) 県からの補助なしで小学校分の可搬式冷房機の導入等を決めたことは、熱中症対策に迅速かつ誠実に取り組んでいることであり評価できます。また次年度に向けて下校時の熱中症対策のため、夏の期間のスクールバス運行についても検討していくということであり、対応が難しい部分もあるかと思いますが、丁寧な対応で是非軌道にのせていただきたい。

また、自分自身の身を守るために熱中症に対する勉強会を学校で子どもたちに行うなど、安全に学校生活が送れるよう、今後も対応をお願いします。

- (4) スクールバスの運行については、必要経費の増加、ルート・運航体制の見直し等、毎年考慮

し大変な事業であるが児童生徒が安心して登下校出来るように進めて頂きたいと思います。

- (5) 小中児童生徒の給食費無償化、大変意義のある事業であると思います。それと併せて注目したいことは、温かい食事を提供できる自校調理方式や、亘理町との絆給食、図書給食など創意工夫を凝らした楽しい企画の献立で、食育に力を入れている点であります。いわば人間教育のかたまりみたいな学校給食に、保護者や町民の関心を引き寄せたいものです。

SNSでの献立紹介の取り組みも大変すばらしく、給食のメニューも大変バランスの良いものになっており、様々な工夫をして提供されている給食は子どもたちも楽しみにしていると感じます。給食の思い出は一生残り、今後の食への関心に大事な役割を持ちますので継続して実施をお願いします。

- (6) 昨今の異常気象に加え施設の老朽化もあり、計画的な修繕が必要とされる。何をするにしても環境の整備は最重要課題ですので引き続きお願いします。
- (7) 県立左沢高等学校に対しては、JR定期券の半額助成に資格取得の半額助成と、かなり力の入った支援事業を続けており、左沢高校の大きな魅力化発信になっている。広報「おおえ」に「教えてハイスクール」を掲載しているのも魅力的であると感じます。しかし、最近固定化のイメージが強いように感じる。文章を極端に短くし、写真を大きくするなどの変化、面白みも欲しいところです。1ページ分を割いたり、文化祭を大きく取り上げたり、広報「おおえ」で左沢高校のよさを大々的に発信することも必要と感じます。

また、中学生の進学決定に、学校HPが何らかの形で影響するように思います。左沢高校のHPを閲覧すると、日々更新される記事がたくさんあって学校生活の楽しさが伝わってくる。しかし、動きのあるスナップ写真や様々なアングルの写真が少ないように感じます。さらなる魅力を発信するために掲載する写真を一工夫するともっと良くなるのではないのでしょうか。

3 社会教育・歴史文化活動について

- (1) 放課後子どもプラン推進事業において各教室の参加人数が格段に増加している点は、歓迎すべき状況となっている。前年度と参加者の増減を比較して、重複して参加している児童の割合はどの程度なのか等、分析して次年度事業に活かしてもらいたい。不登校気味の児童たちにも興味を持ってもらえたら、そこをきっかけに変われると思うので大いに期待します。
- (2) ふれあい会館を利用したイベントはどれも大勢の参観があり芸術文化への意識の高さがうかがえた。特に演奏音楽会などは大好評のようなので毎年開催していただきたい。新型コロナウイルス感染症が5類に移行となったが、コロナ感染症が収束したわけではないので、参加者同士の積極的な交流は行えない場合があります。ゆえに静かに聴き入るコンサート類の参加者が多かったのは頷くことができます。このままコロナ感染者数が減らずに推移するのであれば、コンサート等の鑑賞事業を主軸にして取り組んでもいいのではないのでしょうか。
- (3) 図書館利用者カード登録者数が140人増えたのは、スマホ・PCから蔵書を簡単に検索できるようになったことが大きいのではないかと。図書館の利用登録者数が大幅に増加している点、大変素晴らしいと思います。図書の購入も増えており町民のニーズに良く対応出来ている結果だと思えます。
- (4) 「日本一公園初めて行ってみたいけど、きちんと整備されていて眺めも良くてとてもよかった」と他市町村に住んでいる知人に言われました。とてもうれしい気持ちになりました。何度も足を運んでくれるようなAIを活用した企画なども検討いただければと思います。楯山公園の第1期整備事業が間もなく完了ですが、最上川治水対策事業が急務のため第2期に移行するまではしばらく時間がかかってしまうとのこと。その間も次期整備の準備をしっかりと進めてほしいと思います。

何年か前に、広報「おおえ」で特集を組んだことがあります。宝であればあるほど、何らかの形で情報発信が必要ではないでしょうか。少なくとも宝を共有する体験見学会は継続した方がいいと思います。

- (5) 歴史民俗資料館の入館利用者の大幅な増加からも感じる通り、コロナの影響も大分和らいできているのかと思います。
- (6) 文化的景観において、今後有効に活用していけるよう高取家の修繕、維持管理をしっかりとお願いしたいと思います。
- (7) 「夢憧布」の活動が目に見えて大変喜ばしいです。町のいろんな行事にも補助していただき助かっています。文化振興事業にも参加してみてもどうかと思います。子ども達自身が町の行事にどう関わっていくか考えるだけでもいい機会になるかと思います。

4 スポーツ振興活動全般について

- (1) 人口が減少し、少子高齢化がどんどん進み、働き方も多様化している中であって、これまでと同じようなスポーツ大会の実施には無理があると感じます。大江町チャレンジデーのように、全員参加型（動員参加型）のイベントから、希望参加型へ切り替えて、「気軽にスポーツに触れられる機会を提供する」というように、「スポーツは楽しむためにある」という視点に立ち戻って事業を展開することに賛成です。また、参加人数でイベントを評価する姿勢から、参加者の充足感・満足感があつたかどうかという評価へ切り替えていくことも大事かと思います。

新たに大江町チャレンジデーの開催が出来た事は大変良かったと思いますが、今後継続するか、内容を見直す等の検討が必要だと思えます。また、駅伝大会が中止になったことは残念に思いますが、様々な状況を鑑みて臨機応変に対応いただき、新たなことにチャレンジしていくほかないのだと思いました。

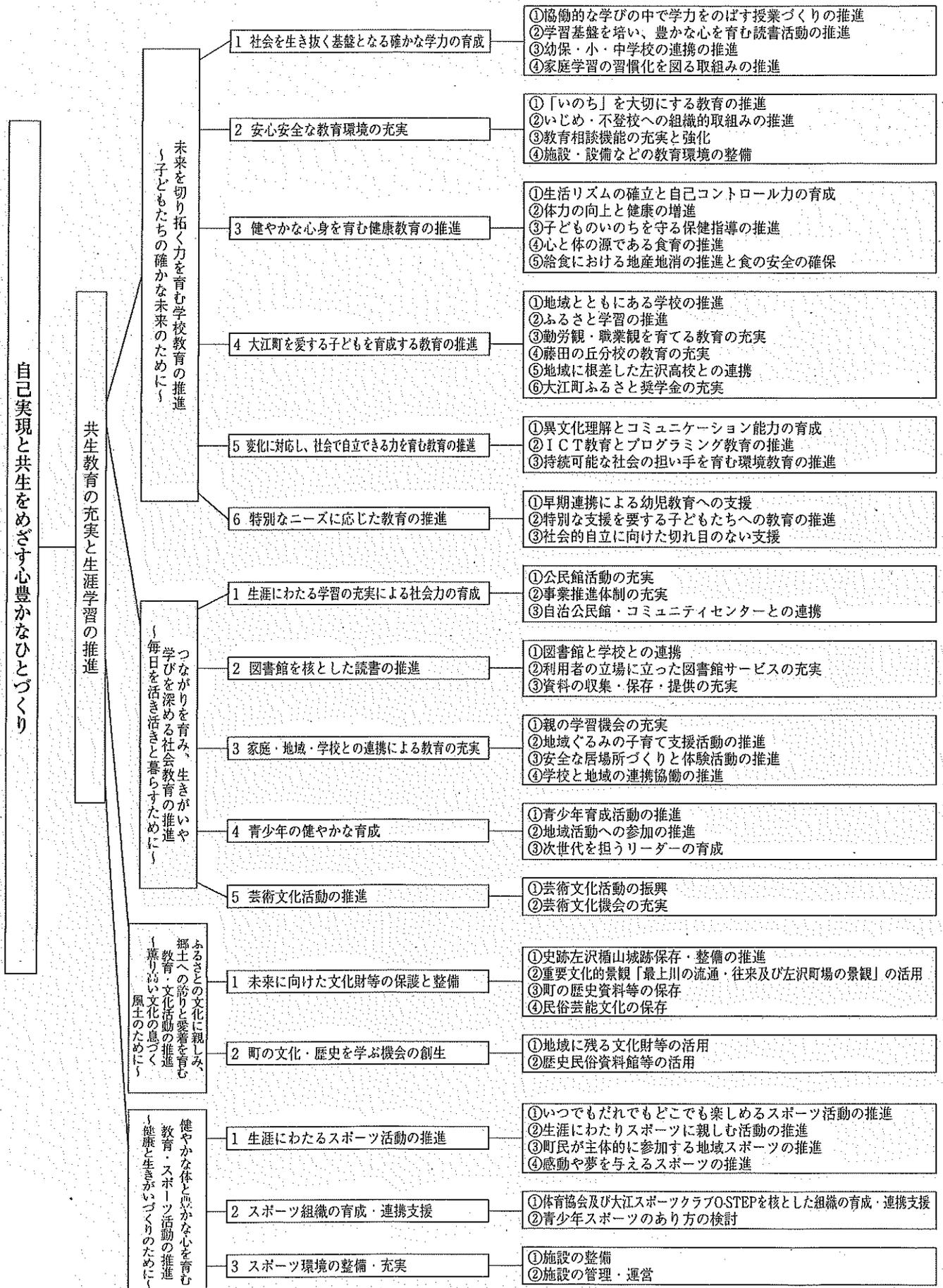
- (2) 雪不足のためにスキー場の営業ができなかった点は大変残念でした。冬季に近場で楽しめる唯一の施設ですので再開後安心して楽しめるよう整備等をお願いしたい。
- (3) 体育センターの手すり嵩上工事は完成後、安心して利用できるようになり大変良かったと思います。
- (4) 誰でもが気軽に参加できるスポーツ教室があることは喜ばしいことです。今後も、会員のニーズに合わせた教室の実施を願っています。

大江町教育プラン（第3次 大江町教育振興計画） 体系図

理念 基本目標 分野別目標

施策

項目



令和5年度分 大江町教育事務事業点検・評価調書一覧

区分	施策体系	事務事業名	担当係	頁
未来を切拓く力を育む学校教育の推進	1-1-①	小中学校運営事業	学校教育係	10
	1-1-①	教育活動推進事業	同	11
	1-2-③	教育相談員配置事業	同	12
	1-2-④	小学校施設整備事業	同	13
	1-2-④	中学校施設整備事業	同	14
	1-2-④	スクールバス運行事業	同	15
	1-2-④	就学支援事業	同	16
	1-3-③	学校保健事業	同	17
	1-3-④・⑤	学校給食事業	同	18
	1-4-⑤	左沢高等学校支援事業	同	19
	1-4-⑥	大江町ふるさと奨学金事業	同	20
	1-5-①	国際理解推進事業	同	21
	1-6-②	学習生活自立支援事業	同	22
	つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進	2-1-①、2-5-②	公民館管理運営事業	社会教育係
2-1、2-3、2-4		生涯学習推進事業	同	24
2-2-①～③		読書推進事業	同	25
2-3-②～④		放課後子どもプラン推進事業	同	26
2-3-②、2-4		青少年育成事業	同	27
2-5-①・②		芸術文化振興事業	同	28
ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進	3-1-③④ 3-2-①②	文化財保護事業	歴史文化係	29
	3-1-①	左沢楯山城跡保存整備事業	同	30
	3-1-②	文化的景観推進事業	同	31
	健康やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進	4-1-①・③	スポーツ振興事業	スポーツ振興係
4-2-②		スポーツ団体育成事業	同	33
4-3-①・②		スポーツ環境整備事業	同	34

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校運営事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第1節 社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 ①協働的な学びの中で学力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 2・3 小学校費、中学校費 1・2 学校運営費、教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	『主体的・協働的な探究型学習』が展開されるよう、各学校の取り組みを、物・人・指導方法等多方面で支援し、学習環境を整える。
事業内容	・学校運営に要する経常経費 ・教育に要する経費

3. 予算額・決算額

予算現額	61,627	決算額	55,083	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目				
学校の運営に係る経費 42,591千円 ※給食・学校医関係を除く (報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料、原材料、備品購入、負担金)				
教育振興に係る経費 12,492千円 (報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、備品購入、負担金)				

4. 事業の実施状況

左沢小学校 児童数219名 職員数30名 左沢小藤田の丘分校 児童数1名 職員数2名 大江中学校 生徒数170名 職員数27名 小学校計 男子172名 女子149名 合計321名	本郷東小学校 児童数101名 職員数20名 大江中藤田の丘分校 生徒数2名 職員数5名 中学校計 男子98名 女子74名 合計172名
--	---

5. 事業の評価

	評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	新型コロナウイルス感染症に対応し、できることを工夫して行事を行うなど、安定した学校運営ができています。
効率性	経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	維持管理費が年々高くなっている傾向であるが、安定した学校の運営が維持されている。
有効性	期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	各学校が予算の範囲内で効果的に執行しており、児童生徒の安定につながった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	この事業は、子どもたちが学校において未来を切り拓く力を育てていくための人的・物的環境を主としている。特に、社会を生き抜く基盤となる確かな学力を育成し、将来の大江町を担う子どもたちに必要な資質・能力を育てていかなければならない。そのためにも継続した形で子どもたちの学びの環境を整え、共生教育の理念のもとで学習が推進されるようにしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育活動推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第1節 社会を生き抜く基盤となる確かな学力の育成 ①協働的な学びの中で学力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	自他が互いに高まり合う共生教育の考えに基づいて、主体的・協働的な探究型学習、学習基盤を培い豊かな心を育む読書活動、幼保小中の連携、地域や家庭と連携した教育活動を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育センターを設置し、教職員の資質向上及び大江町全体の教育力向上にむけて講演会、研修会等を実施する。また、児童生徒の学力診断・知能検査を実施し、その分析を行う。 ・ 共生教育の研究や実践活動を支援する。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,277	決算額	4,218 (単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)			
主な支出項目			
* 知能検査、NRT検査等 1,063千円 * 芸術鑑賞教室 400千円 * 図書購入 1,894千円 * 共生教育推進等(主に学校教育センター関係) 861千円			

4. 事業の実施状況

「学校教育センターの運営」 ・ 学力向上推進委員会 * 小2~中3 教研式NRTテスト実施 * 小2/4/6中2 知能検査実施 * 小3~中3 Q-Uアンケート2回実施 ・ 所員全体研修、教育課題一般研修、共生教育推進、所員半日研修会(大江中学校授業研究会) ・ 芸術鑑賞教室開催、読書活動推進(図書購入)

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	NRT学力検査やQ-Uアンケートの実施により、学力の客観的なデータを基に、授業改善やよりよい人間関係をつくるための指針を活用して、共生教育に基づいた主体的・協働的な学びの推進および学級経営に努めている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	危機管理の面から考えた生徒指導について、教育課題の一般研修を実施した。安全・安心な学校生活を送っていくための、教職員の心構えや日頃の管理、また日常的な生徒指導を通して子どもたち一人一人を育てていくことの大切さを全教職員が理解していた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	NRT学力検査で、概ね全国平均を上回り、子どもたちの学力が高まっている傾向が見られる。また、現状課題も明らかになり、その解決に向け、教職員がそれぞれの学校の授業研究を見合う機会を活用しながら、授業改善に努める姿勢が見られる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	いじめ防止の観点からも、Q-Uアンケートを2回実施し客観的なデータに基づき、学級経営に大いに役立っていることから、今後も継続して実施していく必要がある。また、小学校5・6年に英語が令和2年度より教科化されて4年が経過し、現在G-TEGにて定着度を図っているが、今後NRT学力テストに英語を追加するかどうかを検討していくことが必要である。また、若手教員の増加に伴い、不登校やいじめ防止など生徒指導に関わる初期対応等の研修やICT活用に関する研修をさらに充実させていかなければいけない。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談員配置事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育 振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ③教育相談機能の充実と強化	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 教育相談費

2. 事業の概要

事業目的	心に悩みを抱える子どもを支援するため、教育相談体制を整え、子どもや保護者の悩みに対応できる体制を構築する。
事業内容	・ 教育相談員を配置し、各種相談への対応を行う。

3. 予算額・決算額

予算現額	368	決算額	360	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 教育相談員配置 360 (報償) 千円			

4. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談員の配置 <ul style="list-style-type: none"> * 小学校における相談受付件数 のべ45件 * 中学校については不登校生徒のための別室にて対応している
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	児童生徒や保護者の抱える悩みや課題が複雑化、多様化している中、直接学校には伝えられないものもあり、その対応として相談員が担うことができている。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	教育相談員が児童生徒や保護者と学校の橋渡し役を担っている。また、教育相談員から教育委員会にも情報が入り、学校への助言にも役立っている。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	一昨年度から不登校傾向の児童生徒が増え、不登校に関する相談業務が多かった。該当児童生徒の保護者や不登校・ひきこもり親の会と関わりを持ち続けてくださり、学校との情報共有が図られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止
今後の対応	不登校傾向・いじめ・虐待・人間関係等にかかわる心の悩みは、年々増加しており、今後も増えてくることが予想されます。この教育相談員配置事業において学校や他の関係機関との連携を強化し、教育相談体制を拡充し、児童生徒の心身の健全な成長を支援していきけるようにしていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	学校施設の整備を図るとともに、学習に必要な物的環境の整備を推進する
事業内容	○小学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品などを順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	13,377	決算額	13,054	(単位：千円 千円未満四捨五入)
------	--------	-----	--------	------------------

(備考)

※主な支出項目

- 左沢小学校体育館アリーナ照明改修工事 2,816千円 ○本郷東小学校電話設備更新工事 1,309千円
- 小学校可搬式冷房機器電源工事 1,100千円 ○左沢小学校体育館西側外壁・屋根修繕工事 1,023千円
- 左沢小学校教室カーテン更新工事 586千円 ○左沢小学校印刷室エアコン設置工事 440千円
- 施設用備品 ○可搬式冷房機器導入事業 4,202千円 ○可搬式気化冷風機防球ガード購入事業 264千円

4. 事業の実施状況

○校舎各種工事等：小学校可搬式冷房機器電源工事 他 左沢小（体育館アリーナ照明改修工事、体育館西側外壁・屋根修繕工事、教室カーテン更新工事 他） 本郷小（電話設備更新工事 他） ○施設用備品（可搬式冷房機器導入事業、可搬式気化冷風機防球ガード購入事業）

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	計画的に、状況によっては緊急的に修繕・工事を行っているものの、施設の老朽化が進んでいるため、将来を見据えた大規模な修繕が必要であり、また施設用備品等を順次整備、更新し教育環境の充実を図る必要がある。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕と施設用備品の整備により、学習に必要な物的環境の整備を図ることができた。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により児童の教育環境の充実と向上、施設整備備品の整備により安心して学ぶ環境づくりに役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は児童の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっていることから、老朽化して不具合が生じる箇所については、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。				

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	中学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10:教育費 3:中学校費 1:学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	学校施設の整備を図るとともに、学習に必要な物的環境の整備を推進する
事業内容	○中学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品などを順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	9,733	決算額	9,332	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○第2音楽室換気扇改修 440千円 ○消防設備修繕 266千円 ○下水道配管修繕 217千円				
○電話設備更新工事 755千円 ○可搬式冷房機器電源工事 704千円				
○施設用備品 ○可搬式冷房機器導入事業 4,202千円 ○可搬式気化冷風機防球ガード導入事業 132千円				

4. 事業の実施状況

○工事関係	電話設備更新工事、可搬式冷房機器電源工事 他
○施設用備品	可搬式冷房機器導入事業、可搬式気化冷風機防球ガード導入事業

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	計画的に、状況によっては緊急的に修繕・工事を行っているものの、施設の老朽化が進んでいるため、将来を見据えた大規模な修繕が必要であり、また施設用備品等を順次整備、更新し教育環境の充実を図る必要がある。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕と施設用備品の整備により、学習に必要な物的環境の整備を図ることができた。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により生徒の教育環境の充実と向上、施設整備備品の整備により安心して学ぶ環境づくりに役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっているため、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。老朽化がひどいため、大規模な改修が必要である。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2・3 小・中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業内容	左沢小2台（用線、藤田線）※藤田線は令和4年7月から開始、業務委託により運行 本郷東小1台（柳川線） 大江中2台（用線、柳川線）※柳川線は業務委託により運行 児童生徒の登下校及び校外授業等での送迎
-------------	---

3. 予算額・決算額

予算現額	14,521	決算額	12,524	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考） 運転手報酬等5,278千円 燃料費1,848千円 修繕料1,529千円 車検時役務費224千円 消耗品費434千円 公課費134千円 光熱水費25千円 委託料3,052千円				

4. 事業の実施状況

児童生徒の利用者数（延べ人数）	左沢小（用・小見・藤田線）73名＋学童利用児童、 本郷東小（柳川線） 10名 大江中（柳川線）夏季5名・冬期7名、（用線） 夏季：6名・冬季：14名
------------------------	---

5. 事業の評価

	評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	スクールバスの一部停留所では冬期間の除雪をしなくて良いように場所の変更を行った。
効率性	経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	登校時において学校の枠を超えたバスの運行体制実施を継続しつつ、地区ごとではなく、ルートによる配車の変更により効率的な運行ができています。
有効性	期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	学校ごとのバスと運転手の配置を見直し、バスの利用状況確認表を新設したことで、校外学習で空いているバスの効率的な使用をできるようにした。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童生徒の状況により随時運行体制の見直しが必要。また緊急時の対応なども考慮し、運転手の連携体制の構築をさらに進めていく。また夏期間の下校時の熱中症対策としてスクールバスの利用について学校と協議していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第2節 安心安全な教育環境の充実 ④施設・設備などの教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2,3 小学校費, 中学校費 2 教育振興費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により就学困難な児童生徒の就学機会確保と、特別な支援を要する児童生徒の教育の振興。
事業内容	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍の児童生徒の保護者に対し、学用品や校外活動、給食費等に係る費用を支給し援助する。

3. 予算額・決算額

予算現額	1,751	決算額	1,586	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
要保護・準要保護児童生徒就学援助費 小学校648千円 中学校768千円 計1,416千円				
特別支援就学奨励費補助金 小学校147千円 中学校23千円 計170千円				

4. 事業の実施状況

要保護・準要保護児童生徒就学援助費の支給	対象児童生徒数	小学校24名	中学校13名	計37名
特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童生徒数	小学校12名	中学校2名	計14名

5. 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	前年度に引き続き準要保護の対象者数は微増し、経済状況の低迷により就学に支援を要する保護者は多く、より必要性が増している。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	経済的困難を理由に就学の機会が妨げられた児童生徒がいないのは本事業の成果である。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支給額についてはほとんどの項目で7~9割の補助となっており、給食費無償化等の他事業と併せて成果が得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	1人親世帯になったり、コロナの影響による減収など急に経済的困難な世帯になるケースがある。学校や健康福祉課との連携により迅速に認定し、就学困難な児童生徒を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第3節 健やかな心身を育む健康教育の推進 ③子どものいのちを守る保健指導の推進	予算科目	10 教育費 1、2、3 教育施設、小学校、中学校 1、2 事務局費、学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒・就学予定者及び教職員の健康管理・健康保持増進を図り、もって学校生活の充実を図る
事業内容	児童生徒及び教職員に各種検診等を実施し、健康状態を把握のうえ事後指導を行うとともに、感染症の予防に努める。また、学校生活を始めるまえに、予め就学前児童に対し健康診断を実施し心身の状況を把握する。

3. 予算額・決算額

予算現額	4,552	決算額	4,008	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 児童生徒諸検診委託料 414千円 教職員健康診断委託料 617千円 健診器具滅菌業務委託料 117千円 各学校医薬剤師報酬・謝礼 2,702千円 就学時健診診察報償 158千円				

4. 事業の実施状況

1. 児童生徒分 (対象学年、実施者数)	
①内科・歯科・眼科検診 (全学年対象 491人)	②耳鼻科検診 (小学2・4・6年及び中学2年生対象+α 344人)
③心電図検査 (小学1年生及び中学1年生と要観察者 103人)	
④尿検査 (全学年2次検査含 491人)	⑤貧血検査 (小学6年生及び中学全学年 223人) ⑥結核検診精密検査 (0人)
2. 教職員分 (実施者数)	
①総合健診 (52人)	②胃がん検診 (37人) ③大腸がん検診 (22人) ④ストレスチェック (60人)
3. 就学時健診 (実施者数 41人)	
視力検査・聴力検査・ことば・耳鼻科検査・眼科検査・内科検査・歯科検診 ほか	

5. 事業の評価

	評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	法定の諸検査・検診を行い、疾患の早期発見に努めることはもちろんのこと、児童生徒及び教職員が充実した学校生活を送れるよう、保健・衛生・安全面での取り組みが必要。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	新型コロナウイルス等の感染症対策として、学校では手指消毒や医師も手袋等を使用するなどし対応した。教職員のストレスチェックも全員行われた。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	マスク着用、手洗いうがい、こまめな手指消毒といった日々の指導により、概ね健康的に児童生徒が学校生活を営んでいる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	児童生徒及び教職員の健康管理と就学予定者の健康状況の把握のため、引き続き事業を実施する必要がある。諸検査の結果に基づく事後指導や、学校保健委員会等での振り返りにより、諸検査の実施結果をより効果的に児童生徒の健康増進に生かすことができるよう取り組んでいく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第3節 健やかな心身を育む健康教育の推進 ④心と体の源である食育の推進 ⑤給食における地産地消の推進と食の安全の確保	予算科目	10:教育費 1:教育給務費 2,3:小学校費、中学校費 3:教育活動推進費 1:学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資すると共に、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために学校給食を実施する。また学校給食を通して食への関心を高め感謝の気持ちを育み、食育を推進していく。
事業内容	○小学校2校：自校調理方式による完全給食の実施 ○給食無償化の実施 ○中学校：民間委託による完全給食の実施 ○地産地消及び食育の推進 ○給食無償化の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	52,511	決算額	51,869	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)	給食関係委託(小・中) 981千円 給食業務委託(中) 13,173千円 備品購入2,430千円 補助金29,956千円 臨時調理師報酬他(小)3,677千円 燃料費 919千円 給食関係消耗品等 733千円			

4. 事業の実施状況

1) 小学校：自校調理方式による完全給食(給食実施回数：左沢小189回、本郷東小194回)
○栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、栄養教諭や給食主任等が食と健康の保持・増進などの指導を行い栄養・食に関する正しい知識の普及に努めた。更には、食への関心の喚起、食事の重要性や食べ物を大切にすることの育成、食物の生産・調理等に関わる人々へ感謝する心の醸成、栄養・食事の摂り方の理解を深め自ら管理する力を身につけさせる、伝統文化への理解を深めることなど、食育を推進。
○地産地消への取り組み ○ふるさと給食(年10回) ○東北の郷土料理(年3回) ○絆献立(年2回) ○図書給食(年2回)
○献立作成会議(小学校、中学校各8回)、調理師研修会、給食主任会(2回)、給食運営委員会(2回)
2) 中学校：民間委託による完全給食の実施(給食実施回数：181回)
○栄養教諭が中心となって立てた栄養バランスのとれた献立に基づき、安全で安心な給食を提供。
○小学校と連携した献立の実施 ○令和4年7月から児童生徒の給食無償化

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	引き続き小中連携した献立の作成に取り組んでいる。給食だよりの発行、校内放送による食材の産地紹介など、食育推進に向けた取り組みを実施した他、町のSNSで毎日給食を紹介している。また、年間を通して全学年の給食費の無償化や食材の高騰化に対応するための支援も実施した。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	学校給食法における学校給食の目標に則り、栄養バランス・伝統的な食文化への理解・食育等の面で食材補助を活用するなど適切な給食の実施ができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	地場産を使用したふるさと給食の実施など、食育の充実をはじめ、地元生産者の顔が見える安全で安心な給食が実現できている。今後は地場産品の使用量をもっと増やしていきたい。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小学校及び中学校の完全給食、ふるさと給食等の実施や地産地消への取り組みは今後も継続し、小・中が連携した食育の実践も引き続き取り組んでいく。また、安全安心な食の提供のため、食材の残留農薬検査や微生物検査についても継続して実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢高等学校支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第4節 大江町を愛する子どもを育成する教育の推進 ⑤地域に根差した左沢高校との連携	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	山形県立左沢高等学校の教育機能の充実及び存続に向けた各種支援事業
事業内容	JR左沢線を利用して通学する生徒に対し定期券購入の半額を助成し、左沢高校の活性化を図る。 就職や進学に資する資格又は免許を取得するための費用の半額を助成する。 左沢高校で生産した農産物を町内小・中学校給食へ提供。 左沢高校を支援する会への助成。

3. 予算額・決算額

予算現額	1,006	決算額	808	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
(備考) 左沢高校支援補助金(JR)31名 650千円、(資格取得)24名 52千円、左沢高校を支援する会負担金 100千円 農産物購入代 6千円				

4. 事業の実施状況

○定期券の半額助成事業 1学年7名(174,920円)、2学年7名(151,620円)、3学年17名(323,910円) 合計31名(650,450円)	
○資格取得の半額助成事業 1学年0名(0円)、2学年9名(15,800円)、3学年15名(36,500円) 合計24名(52,300円)	

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	定期券・資格取得の半額助成については、高校へ通う家庭の負担軽減が図られる。左沢高校を支援する会負担金は、会員から集められた負担金により学校活動に有効に利用している。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	定期券の半額助成は、保護者からの問い合わせもあり効果を実感している。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	左沢高校で支援する会の負担金で学校パンフレットを作成し、学校へのPR強化を実施しているが、入学生は増加していない。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	左沢高校の存続に向け、関係機関と連携しながら支援事業を推進していく。左沢高校が魅力ある学校となるよう地域連携協議会を設置し、魅力化、活性化策を検討し左沢高校の活動を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	大江町ふるさと奨学金事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第4節 大江町を愛する子供を育成する教育の推進 ⑥大江町ふるさと奨学金の充実	予算科目	10教育費
教育振興計画		項	1教育総務費
		目	3教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により高等学校及び大学等での修学が困難な者の教育を受ける機会を拡充する
事業内容	<p>高校生・大学生等の修学を支援するため、無利子で奨学金を貸与する。貸与額は、①高等学校及び高等専門学校に在学する者については年額20万円以内（募集人員：新入学生3名程度）、②大学・短期大学及び専修学校（専門課程）に在学する者については年額50万円以内（募集人員：新入学生5名程度）。奨学金を受けることができるのは、学校等における正規の就学期間とし、申請は一年毎に行うものとする。奨学金の返還は、卒業後6カ月を経過した月の翌月から、貸与を受けた奨学金総額により決められた期間内に行う。</p>

3. 予算額・決算額

予算現額	基金事業で運用	決算額	基金事業で運用	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 令和5年度末基金総額 50,103千円		債権額35,439千円(貸与額累計68,396千円、返還額累計33,530千円)		
		令和5年度末現金残高 14,664千円(令和5年度利子1千円)		

4. 事業の実施状況

貸与者：大学(短大含)9名 [1年生×0名, その他学年×9名] 高校0名 [1年生×0名, その他学年×0名]	小計9名
貸与総額：500千円×8名 + 432千円×1名 = 4,432千円	

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	無利子であることから、利用しやすい制度となっている。県と共同でおこなっている返還免除支援事業の利用等で返還の負担が軽減した奨学生もいる。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	制度創設から10年を経過し奨学金返還者が増えてきている。返還が滞る奨学生も少なく基金運用もうまくいっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支援を行った方が町内に居住し就職するケースもあり、地元回帰としての効果も見受けられる...

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	制度が定着してきているといえる。町が県と一緒にいる地元就職による返還免除の支援事業もあり、今後は修学支援をさらに一歩進めた「地元回帰」につながるよう事業を実施していきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	国際理解推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第5節 変化に対応し、社会で自立できる力を育む教育の推進 ①異文化理解とコミュニケーション能力の育成	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	外国の人々との交流を通し、言語や文化に対する理解を深めることで、社会や経済のグローバル化に対応し、国際社会に貢献できる子どもの育成を目指し、環境整備に努めます。
事業内容	①外国語指導助手(ALT)配置事業 ②英語学習力強化事業

3. 予算額・決算額

予算現額	9,438	決算額	9,363	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 中学生国際理解教育研修費2,392千円 外国語指導助手配置事業6,304千円(ALT分3,687千円、外国語指導員分2,617千円) 英語技能検定・GTEC受験手数料 350千円 英検チャレンジ支援謝礼等76千円・中学生オンラインレッスン受講料235千円				

- ①外国語指導助手配置事業：大江中：月、火 左沢小：水、金 本郷東小：火、木 藤田の丘分枝に8回、にじいる保育園に8回 ALTと外国語指導員の2名体制で英語学習を行った。学校での活動は、中学校では英語教諭の助手、小学校では、3・4年生が外国語活動として週1時間、5・6年生が外国語科として実施。
- ②英語学習力強化
英語学習力を強化するため大江中3年生の英語技能検定受験料を負担。
大江中1年生のブリティッシュヒルズへの動機づけを目的としたオンラインレッスンの実施。
小学校6年生にスコア型4技能検定GTECの実施。
- ③中学生国際理解教育研修
大江中2年生が福島県のブリティッシュヒルズにおいて1泊2日の行程で一日英語で過ごす体験活動を行った。
- ④小学校低学年英語活動
小1・小2に分けて会場を中央公民館にして、ハロウィンとクリスマスに合わせて英語を楽しむ活動を実施。

5. 事業の評価

	評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	小中7年間の外国語の充実・小学校低学年の動機づけの充実を行いつつ、中学校では中学1年生のオンラインレッスンを実践力が高まるものに変更して実施した。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	ブリティッシュヒルズの中2の体験は、生徒の英語への関心・意欲を喚起することができた。また、小6実施のGTECの結果を、次年度に中学校に提供し、英語の授業に役立ててもらっている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	ALTと外国語指導員の関わりにより、児童生徒の英語への関心や学習意欲が高まっている。小6のGTECの結果として昨年度同様に話す力・書く力が全国より高い成績であった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	今後も学びの連続性を意識し小中7年間の外国語授業の充実・小学校低学年の動機づけの充実を図っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習生活自立支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 未来を切り拓く力を育む学校教育の推進 第6節 特別なニーズに応じた教育の推進 ②特別な支援を要する子どもたちへの教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	特別な支援を要する児童生徒への対応や悩みを抱える子どもの自立支援に向けた個別支援の充実を図る。
事業内容	障がいや個別に支援が必要な児童生徒に対して個に応じたきめ細やかな指導を行うため、学習生活支援員を配置する。

3. 予算額・決算額

予算現額	12,072	決算額	11,681	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	*学習生活支援員報酬 11,681 (報酬10,211 期末手当1,158 旅費312) 千円			

4. 事業の実施状況

・ 学習生活支援員の配置	* 配置校3校 * 配置人数7名 (左沢小2名、本郷東小2名、大江中3名)
--------------	--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	個別に支援を要する児童生徒、学習に困難さを感じている児童生徒など、個に応じた支援を行うために必要な人的配置を行った。また、県の事業による非常勤講師、町会計年度任用職員の学習指導員等の配置をした。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	担任だけでは見取りきれない児童生徒の状況を支援員と教員が情報共有する中で、学習指導のみならず生徒指導においても、児童生徒に寄り添った手立てを打つことができている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	児童生徒の心の安定を図るために、担任だけでなく、支援員が児童生徒の話し相手にもなっており、心の交流が児童生徒の心の安定につながっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	様々な課題を抱える児童生徒がおり、担任以外の支援員による声かけやアドバイスをタイムリーに行われることによって、児童生徒を学びに向かわせることができる。個別・最適化された学びや主体的に児童生徒を学ばせていくうえで、担任はもとより複数の支援者の児童生徒に対する気付きが必要である。そういう意味でも支援員の力が不可欠である。支援員は誰でもよいというわけではないため、対応できる支援員の人材確保が課題である。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館管理運営事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つなぐりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第1節 生涯にわたる学習の充実による社会力の育成 ①公民館活動の充実 ②事業推進体制の充実 第5節 芸術文化活動の推進 ②芸術文化機会の充実	予算科目	10:教育費 4:社会教育費 2:公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進の拠点としての役割が果たせるよう、中央公民館と町民ふれあい会館、克雪管理センターの管理運営を行う。
事業内容	効率的かつ適正な公民館の管理運営と、利用者ニーズに対応した施設や学習機材等の整備による利用促進を図る。

3. 予算額・決算額

予算現額	39,217	決算額	37,962	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
<p>[中央公民館 13,779千円] 夜間及び休日の管理人配置 2,811千円、光熱水費外需用費 6,261千円、清掃外委託料 2,955千円 外</p> <p>[町民ふれあい会館 23,677千円] 夜間及び休日の管理人配置 3,992千円、光熱水費外需用費 6,805千円、清掃外委託料 6,503千円、工事請負費 2,949千円 外</p> <p>[克雪管理センター506千円] 光熱水費外需用費 185千円、管理等委託料 255千円 外</p>				

4. 事業の実施状況

夜間及び休日の管理人配置、清掃外業務委託、(町民ふれあい会館)ヤマガタダイカイギョウレプリカ展示台等作製業務委託、中央公民館・町民ふれあい会館Wi-fi更新工事、町民ふれあい会館駐車場区画線補修工事 外

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	住民の多様な生涯学習活動の場として利用されている。また町内団体等の使用料を免除することにより利用率が高まり、生涯学習活動を活発にしている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	効率的かつ適正な公民館の管理運営に努めるほか、施設設備の維持修繕及び更新は、優先度の高いものから実施している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより、様々な活動が活発になっているため施設利用も増加し、生涯学習推進の拠点としての役割が果たされている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町民ふれあい会館と克雪管理センターは経年による施設設備の維持修繕及び更新に多額な経費が必要となっている。町民ふれあい会館については、ふれあい広場のリニューアルを含め今後の施設の修繕についても検討していく。今後も、利用者の安全と利便性を基本に「大江町公共施設個別施設計画」に基づき計画的な維持修繕及び更新、管理運営に努めていく。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	生涯学習推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第1節 生涯にわたる学習の充実による社会力の育成 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ①親の学習機会の充実 第4節 青少年の健やかな育成 ③次世代を担うリーダーの育成	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 2 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進に向け、住民の主体的な活動を支援するため学びのきっかけづくりを行う。
事業内容	人生の各ステージにおける学びの場の設定と各種団体等の活動支援、生涯学習に関する情報提供。家庭教育に関する学習機会の提供。ALTを活用した英語学習機会の提供。イベントを通じた住民活動の発表機会の提供。

3. 予算額・決算額

予算現額	13,042	決算額	12,841	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
(備考) 社会教育指導員の配置 1,861千円、講師謝礼等報償費 943千円、事業用消耗品費・食糧費 199千円、生涯学習カレンダー等印刷製本費 1,053千円、公民館総合補償制度加入保険料 172千円、演奏音楽会出演委託料 2,488千円、映画上映会時著作権使用料 256千円、文化祭共催事業負担金 500千円、山響負担金 89千円、おおえ舟唄太鼓の会活動補助金 80千円、芸術文化団体協議会補助金 60千円、自治公民館整備費補助金 4,710千円 外				

4. 事業の実施状況

英会話講座 (9回、登録7人、延43人)、シルバー講座 (学習講座4回、館外研修1回、登録52人、延130人)、おらだのまち探訪 (5回、登録32人、延81人)、女子力アップ講座 (学習講座4回、館外研修1回、登録25人、延94人)、フリープラン講座 (16回、388人)、教育文化振興基金活用事業 (映画上映会1回、来場者363人)、生涯学習カレンダー・ぶくらすカレッジパンフレット・お知らせ版「生涯学習のひろば」を活用した情報提供、町民ふれあい会館ホワイエ展示 10団体、外

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	参加者による運営委員会を設置し、学習・交流の機会を求める町民のニーズを踏まえた内容の各種教室、講座を実施している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	各種教室、講座等については、参加者より参加料を負担していただき、効率的に開催している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	ぶくらすカレッジオープニング講座のコンサートへ多くの方に参加いただいた。全体的にみると参加者は増加しており、充実度は増したと考えられる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	H29年度開校した「おおえ町民大学ぶくらすカレッジ」を生涯学習事業の柱ととらえ、その枠組みの中で成人・女性の学びのきっかけづくりとしての「おらだのまち探訪」「女子力アップ」などの講座、高齢者の学びの場としての「シルバー講座」、自らの学びの成果を地域へ還元する「でばん講座」は名称を「縁joy講座」に変更し継続実施する。 令和5年度に国のデジタル活用支援推進事業を活用し開催した高齢者向けスマホ教室「スマホマスター教室」を回数を増やし実施する。(R5 2コマ⇒R6 2グループ×5コマ)

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第2節 図書館を核とした読書の推進	予算科目	10 教育費
教育振興計画			4 社会教育費
			3 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	読書に親しむことにより豊かな心を育み、より深く生きる力を身につけ地域社会に温かい絆を広げ、くため、施設・蔵書・図書活動の充実を図る。
事業内容	図書購入、図書貸出返却等整理作業、企画展示（毎月）、レファレンス業務、おはなしボランティア活動（全13回）、図書館まつりの実施

3. 予算額・決算額

予算現額	12,401	決算額	12,102	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考） 図書館職員賃金 5,767千円、図書購入 2,211千円、本棚等購入費 979千円、雑誌購入等消耗品費 987千円、蔵書管理システム借上料 1,703千円、ボランティアサークル活動補助金 60千円 外				

4. 事業の実施状況

	図書購入 1,122冊・寄贈本登録冊数 892冊 R6.3月末現在図書蔵書数 31,896冊 図書貸出冊数 14,813冊（一般書8,478冊 児童書5,900冊 雑誌413冊・視聴覚資料（DVD等）22枚） 図書館利用者カード登録者数 2,295人 図書の整理と貸出、レファレンス業務（図書館会計年度任用職員3名） おはなし会の実施（12回、いとぐるま、毎月第4土曜日）
--	--

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の図書館に対するニーズに対応できるように図書館協議会を設置し意見を反映させている。地域に根差した図書館として社会情勢の変化に対応し歴史や文化に関する資料も充実している。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	一般書・児童書ともに計画的に購入を行うとともに、ボランティアによるおはなし会の実施や図書の整理等を行った。また、蔵書管理システムの導入により迅速な貸出返却の対応や、図書館のホームページ開設によりインターネットでの予約等を行っている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	蔵書管理システムの導入、蔵書の充実、図書の適正な整理などを実施し、利用者の利便性の向上を図っている。また、図書館を支援する団体「おえ図書館倶楽部」の方々に協力いただき図書館まつりを実施するなど住民の関わりを得ることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	利用者や図書館協議会委員等から意見をいただきながら、町民の学習要求に応えられる開かれた運営を目指し、多様化する町民のニーズに対応できる蔵書及び雑誌等の充実、レファレンスサービス、季節に合わせた企画展示等各年齢層に応じたさまざまなサービスを提供している。また、図書館に関わるボランティア団体等にもご協力をいただきながら、図書館をより身近に感じて足を運んでもらえるような事業を展開していく。 子どもの読書活動推進に向け、学校図書との連携を強化し、読書を通じた子どもたちの創造力の育成に努める。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子どもプラン推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ②地域ぐるみの子育て支援活動の推進 ③安全な居場所づくりと体験活動の推進 ④学校と地域の連携協働の推進	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	小学生の児童を対象に多彩な「体験教室」を行い、体験を通して子どもたちの豊かな情操、社会力を育む環境づくりを推進する。
事業内容	放課後や週末、夏季等学校長期休業中に、体験型の多彩な教室を開催する放課後子ども教室を実施し、町の将来を担う子ども達の豊かな情操、社会力を育む。

3. 予算額・決算額

予算現額	5,891	決算額	5,498	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
社会教育指導員等の配置 3,458千円、運営委員・協働活動支援員・協働活動サポーター報酬 1,256千円、消耗品等需用費 516千円 外 ※補助対象経費 4,543千円に対して、国1/3、県1/3、計1,545千円の補助を受けて実施。 運営委員 9人、協働活動支援員 29人、協働活動サポーター 33人				

4. 事業の実施状況

手芸教室 (5回×2、延べ90人)、料理教室 (3回×2、延べ69人)、陶芸教室 (2回、延べ32人)、自然体験塾 (2回、延べ20人)、野外活動体験 (1回、11人)、書道教室 (38回、登録者92人、延べ2,519人)、出前運動教室 (4回、105人)、フラワーアレンジメント (2回、25人)、ボードゲームクラブ (4回、39人)、(新規)英会話教室 (28回、登録者10人、延べ260人)
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	放課後の子ども達の学習の場として定着している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	町民の方々から、持っている能力を活かした有償ボランティアの協働活動支援員、協働活動サポーターとして協力をいただき開催できている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多彩な教室を開催し、子ども達の学びの選択肢を広げると共に地域の大人と関わり合う中で、子ども達の社会性・好奇心の向上がみられた。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	放課後子ども教室の実施にあたっては、協働活動支援員、協働活動サポーターの協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め、教室の内容も検討し新しい内容も取り入れながら今後も事業の充実を図りながら継続していく。 令和6年度より英会話教室を1クラスから3クラスに拡充し行い、生き物教室をやまさあ一べに委託して実施する。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	青少年育成事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第3節 家庭・地域・学校との連携による教育の充実 ②地域ぐるみの子育て支援活動の推進 第4節 青少年の健やかな育成	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	青少年の健全育成を促し、地域活動への参加を推進する。
事業内容	中高生を対象としたボランティア活動への支援、子ども会育成会連合会への支援、青少年健全育成事業への支援、成人式の実施 外

3. 予算額・決算額

予算現額	1,370	決算額	1,249	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
社会教育委員報酬(9名)243千円、青少年育成推進員報酬(6名)84千円、20歳のつどい実行委員会報酬316千円、子どもの居場所づくり事業報酬198千円、社会教育連絡協議会負担金19千円、青少年育成町民会議運営補助金60千円 外 ※その他、青少年育成町民会議(青少年健全育成事業費・子ども会育成事業費・ボランティア育成事業費)より支出				

4. 事業の実施状況

<p>中高生のボランティアサークル「夢憧布(ぼけっと)」(大江中生32名参加) …町内清掃活動。プクちゃんイルミネーション点灯に向けた製作活動、幼児ふれあいボランティア。 子ども会育成会連合会事業…GOGOキャンプ、クリスマスケーキ作り 青少年健全育成事業への支援…青少年育成推進員の独自事業として、イルミネーション企画の補助、中学校卒業式時に大江中卒業生に贈る大江中学校の先生方からメッセージカードをいただき動画を製作し贈った。</p>
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	ボランティアサークル「夢憧布(ぼけっと)」の活動は、青少年の健全育成事業として定着している。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	事業費は、青少年育成町民会議の予算から支出し、青少年育成推進員や子ども会育成会役員の協力をいただきながら実施した。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	青少年育成推進員の独自事業のイルミネーション及びメッセージ動画を多くの方に見ていただいた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ボランティアサークル「夢憧布(ぼけっと)」については、会員が楽しみながら事業を実施できるよう、また主体的な活動になるよう支援していく。 子ども会育成会連合会事業並びに青少年健全育成事業については、青少年育成推進員の協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め推進員の独自企画を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2編 施策の方針 第2章 つながりを育み、生きがいや学びを深める社会教育の推進 第5節 芸術文化活動の推進	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 02 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	文化事業の開催や芸術文化団体への支援により、町の芸術文化の振興を図る。
事業内容	教育文化振興基金活用事業、文化祭、芸術文化団体への支援

3. 予算額・決算額

予算現額	3,499	決算額	3,469	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
教育文化振興基金活用事業「ふれあいコンサート～弦楽アンサンブルのしらべ～」 252千円				
文化祭共催事業負担金 500千円、山形交響楽協会負担金 89千円、 おおえ舟唄太鼓の会補助金 80千円				
芸術文化団体協議会補助金 60千円、演奏音楽会出演委託料 2,488千円				

4. 事業の実施状況

演奏音楽会「ジェイコブ・コーラーピアノLIVE&specialセッション」：11月4日、ふれあい会館、370人の参観 文化祭：10月27日～29日の3日間、中央公民館・ふれあい会館、延べ1,585人の参観 音の文化祭（ひなまつりコンサート）：3月17日ふれあい会館、延べ 428人の参観 教育文化振興基金活用事業「ふれあいコンサート～弦楽アンサンブルのしらべ～」：2月6日、中央公民館、113人の参観 芸術文化団体への支援として負担金補助金の交付（山響、舟唄太鼓の会、芸文協）を行った。

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	演奏音楽会や文化祭、音の文化祭（ひなまつりコンサート）の開催により多くの町民が参観し、芸術文化に触れる機会を設けることができた。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	文化祭を通し、町民が芸術文化に触れる機会を得られた。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多くの参観者に芸術文化を公開し、また、情報を発信することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	令和5年度に引き続き町誕生65周年記念事業としてピアノ特別コンサートを予定しており、町民に本格的な芸術文化に触れる機会を創出していく。 また、芸術文化団体協議会は会員の減少等の課題はあるが、団体の支援・育成により今後とも芸術文化の振興を図っていく。				

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ③町の歴史資料等の保存 / ④民俗芸能文化の保存 第2節町の文化・歴史を学ぶ機会の創生 ①地域に残る文化財等の活用 / ②歴史民俗資料館等の活用	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保護・活用及び郷土芸能継承団体への支援により町民の文化振興を図る。
事業内容	文化財の管理・活用 郷土芸能継承団体育成のための補助金交付、指定文化財管理のための謝礼の支払 町史編さん事業及び歴史的資料の収集及び保管、歴史民俗資料館の管理と活用事業の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	5,050	決算額	4,648	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 主要事業費抜粋				
歴史編さん関係費用	1,807 千円	歴史民俗資料館管理関係費用	2,054 千円	
指定文化財管理謝礼	80 千円	郷土芸能伝承補助金	100 千円	
ヤマガタダイカイギュウリーフレット印刷代外	607 千円			

4. 事業の実施状況

文化財保護委員会の開催 (委員5名)、指定文化財補助金交付 (県3件、町5件)、郷土芸能継承団体補助金交付 (5団体)、町史編さん業務 (町史編さん専門員1名) 歴史民俗資料館活用事業 (入館利用者数・1,248人) 文化祭協賛行事 伝統食のつどい (10月28日開催、48名、参加費1,000円) 小正月行事 雪中田植の実演・伝統食 (1月14日開催、48名、参加費1,000円) ひなまつり ひな人形の展示・麦茶の提供 (3月30日・31日 68名)

5. 事業の評価

	評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	郷土芸能伝承のための事業を実施する団体に対し補助し育成に取り組んだ。 町史編さん資料集の作成に向けて準備をすすめた。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存団体や指定文化財管理者への補助金等を交付することで、団体または管理者が保存、保護を行うことにより適正な伝承、管理が行われている。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存経費の一部を補助することにより各種団体による保存・伝承をしていたが、コロナ禍を契機に活動休止団体も出てきている。指定文化財は管理者への謝礼支払により適正な管理が行われている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化財や伝統芸能は失くしてしまえば元に戻すことは容易なことではないため、今後とも新たな町指定物件の追加を含めた文化財の保護・活用を推進するとともに、町の歴史を知るうえで必要不可欠な資料を収集・保管し、町の歴史・文化を次世代に伝えていくこととする。 事業の実施については、コロナが5類へ移行したことから伝統食のつどい・小正月行事・ひなまつりを再開し、入館者も対前年比76%増となったが、今後とも入館者の増加を目指しサポーターの協力を得ながら事業展開をしていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢楯山城跡保存整備事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ①史跡左沢楯山城跡保存・整備の推進	予算科目	10教育費 04社会教育費 05文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	史跡「左沢楯山城跡」の保存・整備及び利活用により町づくりに資する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・治水対策等にかかる発掘調査、第1期整備に係るサイン設置工事及び測量等の実施。 ・境界杭設置及び測量。 ・見晴らしを確保するため樹木伐採の実施。

3. 予算額・決算額

予算現額	32,032	決算額	31,850	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 主要事業費抜粋				
保存整備検討委員会及び発掘調査等報償	270 千円	サイン設置工事費	18,295 千円	
樹木伐採業務委託料	1,595 千円	遺構数値化業務委託費	1,980 千円	
サイン設置工事監理費	5,225 千円	楯山公園維持管理及び発掘調査費外	2,285 千円	
境界杭設置業務	2,200 千円			

4. 事業の実施状況

保存整備検討委員会の開催(2回)、現地指導(8回)、見学会(1回)、史跡保存管理(日常維持管理)、試掘調査(治水対策関係)、サイン設置工事(現年分)、境界杭設置、工事監理業務、遺構数値化業務、樹木伐採業務、昨年度繰越分サイン設置工事
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の誇りである国指定史跡「左沢楯山城跡」の今後の管理や整備を推進するため、第1期整備事業を推進した。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	第1期整備事業としてサイン設置工事と樹木伐採業務、境界杭設置を実施した。整備工事の一部が完了、供用開始したことにより、町民から喜びの声が寄せられている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	文化財として保護を図るため、保存管理計画に基づき適正な管理・活用を行った。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	楯山公園については、第1期整備事業を進めているが、まもなく整備完了となるため、第2期整備に向けて左沢楯山城跡保存整備検討委員会から指導や助言を得ながら、時期整備に向けた準備を行っていききたい。また、最上川治水対策事業に係る試掘等の発掘業務が増加しており、通常業務を圧迫していることから、優先順位をつけながら業務を進めていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化的景観推進事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系	第3章ふるさとの文化に親しみ、郷土への誇りと愛着を育む教育・文化活動の推進～薫り高い文化の息づく風土のため～ 第1節未来に向けた文化財等の保護と整備 ②重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の活用	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	国の選定を受けた重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の保護と活用を図る。
事業内容	文化的景観事業を検討する「文化的景観保存整備検討委員会」の開催。 「左沢の流通・往来及び左沢町場の景観」の保存活用を目的として文化的関連の高取家修繕設計及び耐震診断・間接補助の実施。最上川・月布川の治水対策に関する現状変更等にかかる事業の調整

3. 予算額・決算額

予算現額	5,660	決算額	5,266	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 主要事業費抜粋				
保存整備検討委員会委員等報償	1,100 千円	文化的景観補助	930 千円	
委員会委員旅費	489 千円	高取家維持管理費外	547 千円	
高取家修繕工事設計委託料	2,200 千円			

4. 事業の実施状況

文化的景観保存整備検討委員会の開催（5回）、土木部会（10回）、現状変更等に係る打合せ（11回）、住民説明会（3回）、高取家修繕工事設計及び耐震診断、医王寺薬師堂修繕への間接補助

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	日々の生活に根ざした身近な景観の文化的な価値を正しく評価し、地域で護り、次世代へと継承していくことができる。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	文化的景観の重要な構成要素である高取家の修繕に向けて設計を実施した。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	「最上川の流通・往来及び左沢の町場の景観」が、県内初となる国の重要文化的景観に選定され、事業を推進することにより、町内外に広く文化的景観の町であることをアピールできた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃その価値にはなかなか気がつくにくいものである。国の重要文化的景観選定を受け、今後、これをどのようにまちづくりへと活かしていくか、町民の誇りと意識を高め、次世代へと継承していくことができるかを住民へ周知する必要がある。事業の具体的な進め方としては整備計画に基づく重要な構成要素（建築物）の保存整備と合わせて、サイン等（案内看板等）の整備を進めるとともに、ワークショップなどのソフト事業も推進していきたい。 令和2年度の豪雨災害を受けて、百目木地区と鹿子沢地区に係る治水対策について、現状変更に向けた部会や打合せ等が増加しているが、重要文化的景観の理解を深めながら、関係部署と連携し対応していきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ振興事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第1節 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ①いつでもだれでもどこでも楽しめるスポーツ活動の推進 ②生涯にわたるスポーツに親しむ活動の推進 第2節 スポーツ組織の育成・連携支援 ①スポーツ協会及びO-STEPを核とした組織の育成・連携支援	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費 1 体育振興全般に要する経費

2. 事業の概要

事業目的	多様なニーズに対応できる体系を構築し、多くの住民が気軽に参加できるスポーツ活動を推進する。
事業内容	ニュースポーツ及びレクリエーション活動の推進、駅伝及び剣道競技の強化支援 スポーツ協会の活性化、スポーツ大会の充実のための支援と加盟団体等の活動支援

3. 予算額・決算額

予算現額	6,518	決算額	6,452	(単位：千円 千円未満四捨五入)
スポーツ推進委員報酬費165 町スポーツ協会補助金4634 その他1405		社会体育推進員138 左沢高校剣道部育成補助金200		

4. 事業の実施状況

スポーツ推進委員11名委嘱、社会体育推進員55名委嘱、 町スポーツ協会（ニュースポーツ体験会の実施、マラソン・綱引き大会実施、ソフト・駅伝大会は中止、加盟団体大会は6団体3団体は中止）、左沢高校剣道部への支援

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	大江町チャレンジデーを実施し、ポッチャ、ディスクゲッター、モルック等のニュースポーツに触れる機会を提供できた。今後も気軽にスポーツにふれられる機会を提供していく。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	コロナ5類移行に伴い、ソフトボール大会、舟唄健康マラソン大会、つなひき大会は参加者が多少戻ってきた中で開催できた。残念ながら、町駅伝は参加チーム数が少なく中止となったが、今後に繋がるスポーツ協会のイベントの開催となった。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	イベントへの参加者が増加したことから、コロナが5類移行したことの影響でイベントへの参加がしやすくなったことが感じられる一年となった。今後に繋がる大きな成果と捉えている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	コロナ5類移行に伴い、イベントへの参加者が増加したという結果はあるものの、コロナ禍以前に比べればまだまだ参加人数が振るわないというところであり、1人でも多くの住民がスポーツに親しめるようスポーツ推進委員や社会体育推進員の協力を仰ぎながら、イベント参加者の拡大、スポーツレクリエーション活動及び健康づくりと地域コミュニケーション活動の推進につなげていく。

事務事業点検・評価調査

1. 事業名等

事業名	スポーツ団体育成事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第1節 生涯にわたるスポーツ活動の推進 ③町民が主体的に参加する地域スポーツの推進 ④感動や夢を与えるスポーツの推進 第2節 スポーツ組織の育成・連携支援 ①スポーツ協会及び0-STEPを核とした組織の育成・連携支援 ②青少年スポーツのあり方の検討	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費 2 生涯スポーツ振興事業に要する経費 3 スポーツ振興基金事業に要する経費

2. 事業の概要

事業目的	優れた成績を取めた選手及び団体への支援、総合型地域スポーツクラブの活動支援をおこなう
事業内容	スポーツクラブ活動の支援 スポーツ振興基金を運用した競技団体の活性化事業 全国大会出場選手への激励金交付

3. 予算額・決算額

予算現額	2,796	決算額	2,552	(単位:千円 千円未満四捨五入)
ア 教室講師謝礼0 0-STEP運営補助金2250		全国大会出場選手激励金110 競技団体等活性化補助金(青少年スポーツ団体振興事業補助金)103		

4. 事業の実施状況

総合型地域スポーツクラブ0-STEP事業	フィットネス、ヨガ、太極拳教室等通年教室が10教室、午後3時、カヌー体験教室、スノートレッキングの計13教室を実施し、会員数は173名、延べ4651名 全国大会出場者(8名11件支援)へ激励金交付 小鳥山スキー教室開催(14人申し込みがあったが、雪不足のため開催できなかった。)
----------------------	---

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	総合型地域スポーツクラブ0-STEPの活動がスタートし12年目、町民の多様なニーズに応えるべく運営してきた。R5も4月から各種教室を開催した。青少年スポーツ団体の支援も補助金の活用により実施できた。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	ニーズに合わせた教室の開催や運営体制を確保し、会員の増加に努めた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	0-STEP事業では会員数及び教室への参加者も定着し、リピーターを増やし、各世代層の会員の確保に尽力してきた。R5年度はこれまでの教室に加え、新しい教室を開催した結果、会員数は微増した。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	コロナ禍以前のようにスポーツイベント等が開催され、また健康志向が強まる中、スポーツへの関心が高まっていくことが想定される。様々なニーズに応えられるよう総合型地域スポーツクラブの活動へ引き続き支援を行い、町民が参加したいと思える各スポーツ教室を実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ環境整備事業	所管課・係	教育文化課 スポーツ振興係
施策体系	第4章 健やかな体と豊かな心を育む教育・スポーツ活動の推進 第3節 スポーツ環境の整備・充実 ①施設の設備 ②施設の管理・運営	予算科目	10:教育費 5:保健体育費 2:体育施設費 1:社会体育施設等管理運営に要する経費 2:多目的交流広場等管理に要する経費

2. 事業の概要

事業目的	利用者が安全に利用できるよう老朽化した施設を整備していく
事業内容	計画的な施設の整備・修繕、利用者のニーズに即した施設の備品の更新

3. 予算額・決算額

予算現額	59,815	決算額	56,829	(単位:千円 千円未満四捨五入)
光熱水費8570		各保守点検・管理等委託料10967		
体育施設整備等工事費27565				

4. 事業の実施状況

町民プール大小プール槽塗装工事、町民プール管理棟東側漏水修繕工事、大江町体育センター2階観客席手摺嵩上げ工事、町民プール管理監視委託、螢水運動公園・森ノ宮公園管理委託等 カヌー、テニスネット、野球場外野フェンスネット購入等
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民プールのプール槽の塗装及び管理棟の漏水修繕、体育センター観客席手摺の嵩上げなどの工事を行い、利用者の利便性の向上や安全対策を行った。また、古くなり老朽化したカヌーの更新を行った。その他の施設の維持管理について、快適に利用できるよう業者への委託を行った。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	老朽化した施設の修繕、利用者の安全性の確保等、快適に施設が利用できるようになった。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	スキー場は雪不足のため営業できなかったが、プールの利用者が増えており、その他体育施設も含め、概ね期待される効果は得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	施設の維持管理も含め、老朽化等に対する対応を適切に行いながら安全に社会体育施設を利用できるよう努める。 また、施設利用に係る利便性の向上の観点から施設の整備・修繕を今後も進めていきたい。

教育委員会事務事業点検・評価報告書（令和5年度分）

令和6年9月

大江町教育委員会 教育文化課

〒990-1163

山形県西村山郡大江町大字本郷丁 373 番地の 1

TEL : 0237-62-2270、3666（代表） FAX : 0237-62-3667